

第1回 公共交通利用促進ミーティングの開催結果について

1 日時及び場所 令和3年11月19日(金) 14:00～16:00 毎日会館(札幌市中央区北4条西6丁目)

2 参加者

明神 健太	網走バス(株) 常務取締役	
内澤 博昭	函館バス(株) 常務取締役	
明 勝彦	北海道旅客鉄道(株)地域交通改革部 主幹	
古牧 海	ANAあきんど(株)札幌支店 マネージャー	
岩崎 景生	日本航空(株)札幌地区販売部地域活性化グループ グループ長	
越 桂二郎	日本航空(株)札幌地区販売部地域活性化グループ 統括マネージャー	
嶋田 浩彦	北海道中央バス(株)観光事業推進本部シービーツアーズカンパニー 統括マネージャー	オブザーバー
大井 元揮	(一社)北海道開発技術センター調査研究部 上席研究員	オブザーバー
高見 芳彦	北海道総合政策部交通政策局長	

- ## 3 内容
- (1) コロナ禍における交通業界の現状について共有
 - (2) 道や鉄道活性化協議会、各交通事業者等の取組について報告
 - (3) 今後の利用促進に向けた意見交換

4 主な意見

- ・ 乗り継ぎの円滑化やデジタル技術の活用など、利便性の向上を図っていく上で、交通事業者間の連携を進めていくことは何よりも重要。
- ・ ぐるっと北海道を活用して他事業者と新商品を造成したことで、事業者間連携のきっかけとなった点や、販売のプロモーションを事業全体として効果的に行っている点良かったので、継続してほしい。
- ・ 2030年の北海道新幹線札幌開業を見据えた札幌駅交通ターミナルの整備に向け、交通事業者が連携したインフォメーション機能の充実強化を図ることができると良い。
- ・ 各交通モードの特性を活かした利用や役割分担に着眼し、公共交通の利用促進に向けて何ができるか考えていきたい。
- ・ 今回のミーティングは、他社の取組を知ることができる非常に有益な機会。